

求めよ、捜せ、門をたたけ

十二使徒定員会

ラッセル・M・ネルソン長老

すべての末日聖徒には、個人の啓示を受ける資格があります。

愛する兄弟姉妹、わたしは皆さん一人一人にとっても感謝しています。また、この大会を世界中の何百万という人々に届けるのを可能にしてくれている、現代の通信手段という奇跡にも感謝しています。

今日の科学技術のおかげで、携帯電話を使って素早く情報をやり取りすることもできます。最近、妻のウェンディとわたしは割り当てを受けて別の大陸に行っていたとき、わたしたち家族に新たに赤ちゃんが生まれたことを知りました。その良い知らせを受けたのは、地球の反対側でその子が生まれて数分後のことでした。

しかし現代の科学技術よりもさらに驚嘆すべきことに、わたしたちには天から直接情報を得る機会が与えられています。ハードウェアもソフトウェアも、毎月のサービス利用料金も必要ありません。これは主が人に用意してくださっている最も驚くべき賜物の一つです。主は寛大にもこう招いておられます。「求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。」¹

個人の啓示を与えるという、時を超えたこの約束は、主のすべての子供たちに対してなされています。真実とは思えないほどすばらしい話ですが、真実です。わたしはその天の助けを受け、それに基づいて行動してきました。そして常に受ける用意をしておく必要があることを学んできました。

何年も前、総大会に向けて話の準備に没頭していたときのことです。熟睡していたわたしは目覚めると、あるアイデアに強く心を打たれました。すぐにベッドのそばにあった紙と鉛筆に手を伸ばし、大急ぎで書き留めました。そしてすばらしいアイデアを記録したぞと思いながら、再び眠りに就きました。翌朝、その紙を見てとてもがっかりしました。何と書いてあるのか、まったく読めなかったのです。今でもベッドの横に紙と鉛筆を置っていますが、もっと丁寧に書くようにしています。

天から情報を得るには、まず確固とした信仰と心からの望みを持たなければなりません。イエス・キリストを信じながら、誠心誠意求める必要があるのです。² 「誠意」とは、神から授けられる導きに従おうと心から思っているということです。

次に求められるのは、その件について熱心に思い計ることです。この概念は、この回復された教会の指導者が個人の啓示を受ける方法について最初に学んでいたときに教えられました。主は彼らに次のように教えられました。「わたしはあなたに言う。あなたは心の中でそれをよく思い計り、その後、それが正しいかどうか

かわたしに尋ねなければならぬ。もしそれが正しければ、わたしはあなたの胸を内から燃やそう。それゆえ、あなたはそれが正しいと感じるであろう。」³

準備の一部となるのが、関連のある主の教えを知り、それに従うことです。主の永遠の真理の中には、盗んではならない、殺してはならない、偽証してはならないといった戒めのように、広く一般に当てはまるものがあります。そのほか、安息日や聖餐、バプテスマや確認に関する教えや戒めもまた一般的なものです。

啓示の中には、特定の状況に対して与えられてきたものもあります。ノアが箱舟を作ったときや、モーセやリーハイ、ブリガムなど、困難な旅において民を導く預言者の必要を満たしたときなどがそうです。神は昔から預言者を通して御自分の子供たちを教えるという規範を確立しておられ、そのことからわたしたちは、神がそれぞれの預言者を祝福し、預言者の勧告を心に留める人を祝福して下さることを確信できます。

預言者に従いたいという望みを実現するには、非常な努力が求められます。生まれながらの人は神についてほとんど知らず、神の預言者についてはさらに知らないからです。パウロは次のように書いています。「生まれながらの人は、神の御霊の賜物を受けられない。それは彼には愚かなものだからである。また、御霊によって判断されるべきであるから、彼はそれを理解することができない。」⁴ 生まれながらの人から献身的な弟子になることは、大きな変化です。⁵

別の預言者は次のように教えています。「生まれながらの人は神の敵であり、アダムの墮落以来そうであって、今後もそうである。また人は、聖なる御霊の勧めに従い、主なるキリストの贖罪により、生まれながらの人を捨てて聖徒となり、子供のように従順で、柔和で、謙遜で、忍耐強く、愛にあふれた者となり、子供が父に従うように、主がその人に負わせるのがふさわしいとされるすべてのことに喜んで従わないかぎり、とこしえにいつまでも神の敵となるであろう。」⁶

最近、わたしはある男性がそのような大きな変化を遂げるのを見ました。彼と初めて会ったのは約10年前です。ステーキ大会で息子さんが新しいステーキ会長会の一員として支持を受け、その場に来ていたのです。この父親は教会員ではありませんでした。息子さんが任命を受けた後、わたしはこの父親の肩を抱き、そのようなすばらしい息子さんがいることをたたえました。その後、大胆にもこう宣言したのです。「やがてあなたが奥さんとともにこの息子さんと聖なる神殿で結び固められたいと望む日が来るでしょう。その日が来るとき、わたしは謹んでその結び固めを執行させていただきます。」

その後10年間、この男性に会うことはありませんでした。ところが6週間前に、彼と奥さんがわたしの執務室にやって来たのです。彼は心のこもったあいさつをすると、あのときのわたしの言葉にどれほど驚いたかを話してくれました。彼はその後、聴力を失い始めました。それまでは教会のことについて特に行動を起こしてはいませんでした。やがて、自分の体に変化が起きていて、自分のこの地上での時間が実際に限られていることを悟るようになりました。そのうちついに聴力を失ってしまいました。しかし同時期に、彼は改心して教会に加わったのです。

話の中で、彼は自分が完全に変化したことを、次のように要約して言いました。「聴力を失わなければ、あなたのメッセージの重要さに注意を向けることができずしては。その後、愛する人たちと結び固められたいと自分がどれほど望んでいるかを実感しました。今、わたしはふさわしくなり、準備が整いました。結び固めを執行していただけますか。」⁷ わたしは神への深い感謝を胸に、儀式を行いました。

そのような改心が起こった後、さらに霊的に精錬されることがあります。個人の啓示に磨きかけられて、霊的な識別の力となることがあります。識別するとは、ふるいにかける、分類する、または区別するという意味です。⁸ 霊的な識別の賜物は、天与の賜物です。⁹ この賜物によって、教会員は目に見えないものを見、触れることのできないものを感じることができるのです。

ビショップには、貧しい者を探し出し、乏しい者を心にかけるという務めに取り組むに当たって、その賜物を持つ権利が与えられています。また、この賜物によって、姉妹たちは世の中の流行を吟味し、どんなに人気があっても見かけだけのもの、さらには危険なものを見分けることができます。会員たちは、閃光のように見えないものもくろみと、心を高め、いつまでも続く高尚なものを見分けることができます。

識別の力については、ずっと以前にジョン・テラー大管長が与えた重要な指示の中でも間接的に述べられています。¹⁰ テラー大管長はステーク会長やビショップ、そのほかの人々に次のように教えました。「[これらの地位]にある人々には、神の聖なる目的をよりうまく推し進めることができるように、自分が持つ長の職の義務に関して神の言葉を授かる権利があります。神権におけるいかなる召しや地位も、それを持つ人の個人的な利益や報酬、名声のために与えられるものではありません。天の御父の目的を成就し、地上に神の王国を築き上げるために特別に与えられるのです。わたしたちは……神の御心を理解しようと努め、次に、それを推し進めます。また、自分が管理するようにゆだねられている人々によって推し進められるようにします。」¹¹

皆さんがそれぞれ自分自身の必要や責任に関する独自の啓示を受けられるように、幾つかの指針が示されています。主は皆さんに、「神の栄光にひたすら目を向けて、信仰、希望、慈愛、愛を」はぐくむように求めておられます。その後、皆さんは確固とした「信仰、徳、知識、節制、忍耐、兄弟愛、信心、慈愛、謙遜、勤勉」をもって求めることができ、そうすれば、与えられるでしょう。たたくことができ、そうすれば、開かれるでしょう。¹²

神の啓示は、神の永遠の律法と常に一致しています。神の教義と矛盾することは決してありません。神を適切な形で敬うとき、啓示を受ける力は増します。主は次のように教えておられます。

「主なるわたしは、わたしを畏れる者に憐れみ深くかつ恵み深く、また最後まで義をもって真理にかなってわたしに仕える者に誉れを与えるのを喜びとする。彼らの受ける報いは大きく、彼らの栄光は永遠である。

わたしは彼らにすべての奥義を……明らかにし、……わたしの王国に関するすべてのことについても……彼らに知らせよう。」13

啓示はすべて一度にもたらされるとは限りません。徐々に与えられることがあります。「主なる神はこう言われる。『わたしはここにも少し、そこにも少しと、教えに教え、訓戒に訓戒を加えて、それを人の子らに与えよう。わたしの訓戒を聴き、わたしの勧めに耳を貸す者は、知恵を得るので幸いである。わたしは受け入れる者にさらに多く与え〔る〕。』」14 忍耐と根気強さは、わたしたちの永遠の進歩に欠かせません。

預言者は啓示を受けているときにどのように感じたかについて述べています。ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリは、「わたしたちの心から幕が取り去られ、理解の目が開かれた」15 と語っています。ジョセフ・F・スミス大管長は、「書き記されているこれらのことを深く考えていると、わたしの理解の目が開かれ、主の御霊がわたしのうえにとどまった」と書いています。16

すべての末日聖徒には、個人の啓示を受ける資格があります。神の指示を求め、捜し、たたくようにと実際に勧められているのは、神が生きておられ、イエスが生けるキリストであられるからです。この教会が主の生ける教会だからです。17 今日のわたしたちは祝福されています。トーマス・S・モンソン大管長が神の生ける預言者だからです。わたしたちが預言者である大管長の勧告を聞き、心に留めることができるよう祈ります。イエス・キリストの御名により、アーメン。

注

1. マタイ7：7；ルカ11：9，強調付加。3ニーファイ14：7；末日聖徒版聖書（英文）付録のJoseph Smith Translation, Matthew 7：12も参照
2. モロナイ10：4
3. 教義と聖約9：8
4. 1コリント2：14
5. モーサヤ5：2；アルマ5：12－14参照
6. モーサヤ3：19
7. このような改心は完全なものである。例えば、ジョン・ニュートン（1725－1807年）は、かつて奴隷商人であったが、生活を変えて主の献身的な弟子となった。ニュートンは自らの改心を次のように要約している。「驚くばかりの恵み（何と心地よい響きだろう）。それがわたしのような卑しい者を救ってくださった。わたしはかつて失われていたが、今は見いだされている。盲目であったが、今は見えている。」（“Amazing Grace,” *Olney Hymns*, [1779年], 41番）
8. 英語の*discern*（「識別する」）の語源は、ラテン語で「分ける、区別する」を意味する*discernere*である。ラテン語の接頭辞*dis*は「分離」を意味し、接尾辞*cernere*は「ふるいにかける」を意味する。*Merriam-Webster's Collegiate Dictionary*, 第11版（2003年）, “discern”の項参照
9. 教義と聖約46：23, 26－27参照
10. 1877年にブリガム・ヤング大管長が亡くなった後、教会の諸事については十二使徒定員会が指示を与えた。使徒たちによる臨時の管理は、大管長会が再組織

される1880年まで続いた。1878年2月23日にこの勧告が与えられたとき、ジョン・テーラーは十二使徒定員会会長であった。

11. ジェームズ・R・クラーク編, *Messages of the First Presidency of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints*, 全6巻 (1965-1975年), 第2巻, 307で引用

12. 教義と聖約4 : 5-6。強調付加。7節も参照

13. 教義と聖約76 : 5-7

14. 2ニーファイ28 : 30

15. 教義と聖約110 : 1

16. 教義と聖約138 : 11。この後、現世で福音を聞く機会を得ずに亡くなった人々に福音を宣べ伝えることについて啓示が与えられた (29-37節)。

17. 教義と聖約1 : 30参照